

教育・学習支援システム研究における専門知識とは？【鼎談】
JSiSE 若手研究者科研費申請支援制度と科研費申請なんでも相談【チュートリアル】

オーガナイザ：

教育・学習支援システム若手の会：山元 翔（近畿大学），田和辻 可昌（早稲田大学）
人材育成委員会：小西 達裕（静岡大学），布施 泉（北海道大学），光原 弘幸（徳島大学）

本セッションは、(1) 教育・学習支援システム若手の会セッションと、(2) 教育システム情報学会人材育成委員会セッションの2部構成となっています。前半部は若手の会がオーガナイザを担当し、教育・学習支援システム分野に携わる研究者と若手の会メンバーでの鼎談を実施します。後半部はJSiSE 人材育成委員会がオーガナイザする、科研費の採択に向けた支援制度の紹介と申請書の書き方などに関する若手会員の皆様からのご質問についてチュートリアルを実施します。

(1) 教育・学習支援システム研究における専門知識とは？【鼎談】

本会は、教育・学習およびその支援を対象としたシステム・実践研究に従事する、もしくは興味を持つ若手研究者が集まり、研究の質向上を目指した議論や研究者間のネットワーク構築、学生の博士進学支援の強化を目指すコミュニティです。本分野の持続的な活性化に繋げるための試みとして、本プレカンファレンスでは「本分野の研究者が蓄積している知見やその土台」をテーマとして、本分野の先人と呼べる方々と我々若手の会で鼎談を実施します。近年、LA や AI 技術の普及により、教育・学習支援システム分野の研究が他分野からも注目を浴びています。それ故、若手は本分野の専門性に今一度目を向ける必要があると考えました。一方で、本分野は学際領域であることから、分野としての背景となる専門知識が多岐にわたり、共有すべき重要な視点や専門知識の範囲が容易には共有しづらいと考えられます。そこで本セッションでは、本分野の研究者らが、本分野において重要と考えている専門知識を共有することで、学生が当分野に対する理解の深化を通し、自身の研究の理解や興味を深め、若手研究者が研究の加速、自身の研究の重要性を再認識することを目的としております。多くの若手研究者・研究者を志す学生の皆さまからの参加をお待ちしております。

前半：不破 泰（信州大学），後半：平嶋 宗（広島大学）

インタビュアー：山元 翔（近畿大学／若手の会），田和辻可昌（早稲田大学／若手の会）

※ 参考 URL（教育・学習支援システム若手の会）：<https://sites.google.com/view/yelsswakate/>

(2) JSiSE 若手研究者科研費申請支援制度と科研費申請なんでも相談【チュートリアル】

JSiSE では若手研究者の科研費獲得を後押しする科研費申請支援制度を 2018 年秋より実施しています。対象種目は研究活動スタートアップ支援、若手研究、基盤研究(C)（ただし、2021年4月1日現在の年齢が 40 歳未満の方が対象）です。本チュートリアルでは、支援制度の紹介と、採択されやすい申請書の書き方等についての若手研究者からの相談にベテランの研究者がアドバイスします。

ご質問・ご相談については事前にも募集を行います（8月上旬を予定）。募集の詳細については本会 Web サイト、jnews、ニューズレターなどをご覧ください。

登壇予定者：

- ・支援制度概要紹介：小西 達裕（静岡大学／JSiSE 人材育成委員会）
- ・科研費申請なんでも相談：

小西 達裕（静岡大学）、光原弘幸（徳島大学）、布施泉（北海道大学）ほか